

第2回和光市産業振興協議会議事録

- 日 時：令和3年4月8日（木）14：00～14：45
- 場 所：和光市役所5階503会議室
- 出席者：郭委員（会長）、伊藤委員、岡崎委員、浜口委員、菅委員、山橋委員、柳澤委員
- 欠席者：深野委員、吉澤委員、岩崎委員
- 事務局：市民環境部長、市民環境部産業支援課長、産業支援課課長補佐、産業支援課産業育成支援担当、コンサル1名
- 議 事：(1) 第2次和光市産業振興計画策定の方針について
(2) 計画策定部会について
(3) 今後の産業振興計画策定スケジュールについて

1 開会

市長挨拶

2. 委員及び事務局紹介 他

配布資料の確認

資料1説明（事務局）

※プロポーザルの結果報告・コンサル業者紹介

3. 議事

（1）第2次和光市産業振興計画策定の方針について

資料2説明（事務局）

柳澤委員：「市民、事業者、関係団体からの意見・要望等の収集」に和光市の行政事業評価資料の収集を加えていただきたい。第四次和光市総合振興計画実施計画の産業振興に係わる事務事業及び施策の評価結果を当協議会の委員で共有した方がよい。

事務局：意見を踏まえて調整していきたい。

郭会長：次回協議会資料として提示するか、もしくは郵送・メールでの送付が可能ならば、次回協議会までに提供していただきたい。

（2）計画策定部会について

資料3説明（事務局）

郭会長：計画策定部会で原案等を検討・作成し協議会に諮るという流れで計画を策定していくということだ。

浜口委員：今後 10 年間の産業振興計画を策定するに当たって、実効性を高めることが重要である。そのためには、市内で事業を営む人の意見を反映した方がよい。商工会工業部会長の伊藤委員、商業部会長の岡崎委員、中小企業支援に携わっていた柳沢委員の 3 名を推薦する。また、商工会の事務局長を務める私も参加したい。

郭会長：浜口委員からの推薦について意見はあるか。意見がないようなので、和光市産業振興協議会設置規則第 5 条 3 項に則り、会長として推薦があった 4 名を指名したい。

全 員：異議なし。

(3) 今後の産業振興計画策定スケジュールについて

資料 4 説明 (事務局)

郭会長：基礎調査等はどこに重点を置き、どのような内容で行うのか。アンケートの実施方法（郵送配布、インターネット調査、対面調査等）や調査対象数はどうのように想定しているのか。

事務局：できるだけ事業者の生の声を聞くことが重要と考えている。何が必要なのか、何が課題なのか、あるいはどのようなものがあれば振興できるのかを把握したいと考えている。想定している調査対象は、和光市商工会の会員約 890 社を中心に、個人事業主を含む市内の中小企業（約 1,600 社）の中からも調査対象を抽出したいと考えている。具体的な調査方法は第 1 回部会で提案したい。スタートアップ企業や創業者はヒアリング調査を実施する予定である。市民向け調査については第五次総合計画策定時に実施した市民アンケート調査結果等の既存データを活用していきたい。個人事業者の情報把握は困難であるが、工夫してできるだけ幅広い対象からの意見を抽出したい。

菅委員：市外から和光市に進出したいと考えている企業が結構いる。市外事業者の声を聞くことも有効だと思う。実際に調査するのは難しいが市外事業者からの意見収集は考えているか。

事務局：和光理研インキュベーションプラザに入居する市外企業等から意見を聞くことを考えている。

郭会長：既存企業やスタートアップ企業、さらにこれから和光市で起業したいと考えている人たちをいかに支援していくかが検討課題となる。和光市を選んでもらえるような、他都市との差別化を図れる魅力あるものを和光市の中から見つけ出せれば支援効果が生まれてくると思われる。

伊藤委員：アンケートのテーマについては 1 度議論したい。和光に進出したいという企業が多いとのことだが、ニーズがありそうな物流企業が立地できるような大きな土地はない。研究開発型企業が集まるまちとしていくのか、異なる面

からの都市を目指すのか、そのテーマについてアンケート調査を実施する前に検討したい。

事務局：計画策定部会で検討したい。

郭会長：時間があるならば計画策定部会での検討内容を協議会委員にフィードバックできるとよい。

4. その他

今後の予定として、第1回計画策定部会を日程調整し開催する。次回協議会の開催は8月頃を予定する。

5. 閉会

以上